

(8) 龍門の滝（那須烏山市）

龍門の滝は、支川江川にある、幅65m高さ20mの大滝で、ここには大蛇が住むという伝説があり、名称の由来になっている。近くには龍門ふるさと民芸館があり、付近の観光情報のほか、那須烏山市にまつわる民話や伝説などの情報を伝えている。



(平成17年7月)

図5-12 龍門の滝

(9) 御前山（常陸大宮市・城里町）

「関東の嵐山」と称される御前山は、藩政時代には御留山として樹木の伐採が堅く禁じられていたため、今でも豊かな自然が残る風光明媚な場所である。那珂川を望む御前山青少年旅行村ではバンガローやキャンプ場が整備され、御前山周辺の緑豊かな自然の中でハイキングや自然観察等を楽しむことができる。

また、御前山下流にある那珂川大橋付近は関東地方有数のカヌーツーリングの場であり、毎年10月に「那珂川カヌーフェスティバル」が開催されている。



(城里町、平成17年10月)

(城里町、平成17年10月)

図5-13 那珂川カヌーフェスティバルの様子

(10) 潤沼湖畔（茨城町）

潤沼は満潮時には那珂川から海水が流入してくる汽水湖であるため、淡水魚のほか、海魚・汽水魚も生息している。潤沼ではボラ・ハゼ・ワカサギなどの釣りが盛んで、湖畔では、バードウォッチングやキャンプ、サイクリングを楽しむ人が多い。

また、この湖に映る秋の月は美しく、水戸八景の一つである「広浦秋月」として知られる景勝地となっている。



(茨城町下石崎、平成17年9月)

図5-14 潤沼周辺のキャンプ場



(茨城町下石崎、平成16年6月)

図5-15 大杉神社から見る潤沼